

平成 28 年度 子育て支援事業計画

1. テーマ 子育て・親育ちの会『親子でふれ合おう！ 楽しもう！』
2. 共催 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
東筑紫短期大学附属幼稚園
3. コーディネーター 東筑紫短期大学 保育学科 准教授 北嶋季之
東筑紫短期大学附属幼稚園 副園長 富田智恵
東筑紫短期大学附属幼稚園 主任 吉田千津子

4. 目的

21世紀に入り、社会情勢はめまぐるしく変化しています。少子高齢化が進み、出生率は低下し、時には虐待によって消えていく子どもの命もあります。この世に生まれてきた大切な子どもたちを健やかに育てていくために、国や市町村をはじめ、様々な分野から支援を充実させることが早急に求められています。

しかし、子育ての基本は家庭です。子どもは遊びや生活の中で成長していき、親もまた子どもとのかかわりを通して子どもから学び、より成長した“親になって”いきます。しかし子どもとのかかわり方に悩むこともあるでしょうし、親子関係がうまくいかないときもあるでしょう。

本事業の意義は子どもをよりよく見ることができる機会や、子どもと一緒に楽しむ場を提供すること、またそれらの中で、子どもの新しい姿や関わり方のヒントを発見し、親子のきずなを深めることにあります。

我々は、平成 17 年度より東筑紫短期大学附属幼稚園・九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学の共催で衣・食・住・子育て・老人介護・リハビリの各専門分野の特性を生かしながら子育て支援事業「子育て・親育ちの会」を開催してきました。早いもので 10 年が経過し年々内容も充実させてきたつもりです。

また南区キャンパスでは、幼稚園も農園を拡大し充実させました。一昨年 3 月には、東筑紫学園の【シンボリックツリー】として「オリーブの樹」の苗を 19 本、園児と九栄大の学生と一緒に植樹しました。さらに、農園で育てたさつま芋を収穫し、園児とその保護者・学生・教員で調理し、食しました。こういうことの積み重ねが子育て支援の特性を生かしたこの事業の成果でもあります。

『オリーブの樹は、数千年も生きるといわれ、逞しい生命力・(勇氣)

を持っています。その美しさと香りは人々をひきつける(親和力)に

あふれ、その果実は自然の恵み・(愛)、とあって人を健やかにしてく

れます。「千年」を生き抜く知恵・(知性)も身につけています。

この樹の花言葉・筑紫の心の親和・知性にあたります。まるで本学園

の建学の精神・筑紫の心そのものを象徴しているような感じがします。』

(植樹の時の学長の言葉より)

東筑紫短期大学附属幼稚園でも教育の理念「よいこのころは ちくしのころ」に沿った園生活やあそびの中で、園児に「ゆうき・しんわ・あい・ちせい」の4つの心の芽を育てており、これは幼児教育の基本である「幼稚園教育要領」の求める子どもの育ちとも合致しています。

最後になりましたが、本学園では未就園児・附属幼稚園の園児や保護者のみならず、地域社会に対しても呼びかけを行っており、周防学舎によるシニアカレッジ、北九州市民カレッジも開催し、地域の活性化を目標に取り組んでいます。

5. 事業計画

A) 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学の講師陣によるオムニバス授業(水、土曜日 10:30~11:30)

※学習テーマによっては、時間帯が異なります。

この回【10月29日(土)】は10:00~12:00とさせていただきます。

★ 講義および学習テーマ(実習も含む)

月 日	講 師	学習テーマ	会 場
6月18日(土)	東筑紫短期大学 保育学科 教授 寺本 普見子	「親子でつくって遊ぼう!! からくりおもちゃ」	短期大学 2号館3階 303室
8月 3日(水)	東筑紫短期大学 食物栄養学科 教授 小川 洋子	「親子クッキング」 ・桜エビとアーモンドのカリカリチャーハン ・鶏レバーのケチャップ煮 ・豆乳スープ ・ヨーグルトゼリー	短期大学 3号館1階 103室
9月 7日(水)	東筑紫短期大学 美容ファッションビジネス学科 准教授 社川 武弘	親子美容体験教室 「親子で変身」	短期大学 1号館2階 201室
10月 1日(土)	東筑紫短期大学 保育学科 准教授 都留 守	「親子でつくって遊ぼう!! ・しんぶんしであそぼう」	附属幼稚園 2階 講 堂
10月22日(土)	九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 教授 佐野 幹剛	「親子で楽しもう! こころと身体のリハビリ体操」	短期大学 2号館3階 303室
10月29日(土)	九州栄養福祉大学 食物栄養学科 准教授 隅川 喜子 助教 室井 由起子	「農園で収穫されたさつまいもを使って ドーナツ作り」親子で試食会!	大学 2号館6階 606室

B) 短期集中セミナー〔親子対象・未就園児〕(全3回(金曜日)10:30~11:30)

★「テーマ リトミック基本動作をからだで、表現しながら姿勢の変化やバランス運動、上下運動、支持運動を取り入れながら、集団で動くことから生まれるたくさんの効果を期待しています。親子でからだを動かす楽しさと大切さを体感してください。」

東筑紫短期大学 保育学科 木原 寛子 助教

月 日	学習テーマ	会 場
6月24日(金)	① リズムの基本を手足、全身を使って表現しましょう。 (基本動作から模倣運動へと展開)	附属幼稚園 2階 講 堂
7月 1日(金)	② マット運動 + 輪 + ボール (手具を使うことで、器用性、神経発達を促す)	附属幼稚園 2階 講 堂
7月 8日(金)	③ ② + 平均台等の器具あそびを楽しみましょう。 (からだを思い切り動かすことで、自ら楽しさを感じ、苦手意識を取り除く)	短期大学 第2体育館